熊本県立大学

国 文 研 究

第四十六号 平成十三年三月

目 次

○『草枕』と『それから』一「非人情」/「自然」とし・				輔		1
○『こゝろ』一「先生」の生一	副	島	久美	き子		15
○日本語長母音の拍知覚における	ピッ 田			•	•••••	51
○中世語りものにおける「ナラハ	_	原	賀代	子		70
○外国人の日本語研究 一ツュンベリーとポリワーノフ	'— 福	Ш	益	和		87
• 受贈雑誌一覧		,			•••••	35

熊本県立大学日本語日本文学会

目 次

── ツュンベリーとポリワーノフ ── ○外国人の日本語研究	○中世語りものにおける「ナラバ」	○日本語長母音の拍知覚におけるピッチの役割	○『こゝろ』―「先生」の生 ―	— 「非人情」/「自然」という理念 —	○『草枕』と『それから』
福	Д	田	副	秋	
田	原	渕	島	月	
益	賀代子	咲 子	久 美 子	大	
和	学	子	字	輔	
:			:		
87	70	51	15	1	

国文研究」第四十六号

発行 平成十三年三月十五日印刷 平成十三年三月十五日

編集・発行

熊本市月出三丁目一番一〇〇号

侑さかき印刷

印刷

☎三八〇一六五四一